

第2回埼玉県災害対策本部会議

日 時：令和7年2月19日（水）
8時15分～

場 所：危機管理防災センター 本部会議室

第2回埼玉県災害対策本部会議 次第

日 時：令和7年2月19日（水）
8時15分～

場 所：危機管理防災センター 本部会議室

- 1 開 会
- 2 対応状況
- 3 知事訓示
- 4 閉 会

令和 7年 2月19日

8:15時点

下水道局

流域下水道管の破損に起因する道路陥没事故について

令和7年1月28日に八潮市内の県道松戸草加線中央一丁目交差点内において、中川流域下水道の下水道管の破損に起因すると思われる陥没が起き、走行中のトラックが転落する事故が発生しました。

1 事故概要

(1) 発生日時

令和7年1月28日(火)午前10時頃

(2) 発生場所

県道松戸草加線中央一丁目交差点内（八潮市中央一丁目地内）

※現在、通行規制中

(3) 現場状況

中川流域下水道の下水道管の破損に起因すると思われる陥没が発生

2 下水道の使用自粛

八潮市内で発生した中川流域下水道の下水道管の破損について、復旧まで時間を要することが見込まれ、汚水が溢れる可能性があることから、お風呂、洗濯等の排水の頻度を下げるなど協力をお願いしてきました。

排水ポンプで陥没部をバイパスする対策を進めてきたことにより、ご協力をいただいていた可能な範囲での下水道の使用自粛と同程度の効果を得る見込みが立ちました。

このため、2月12日（水）12時から、下水道の使用自粛のお願いを行わないこととしました。

県民の皆様のこれまでのご協力に感謝申し上げます。

また、今後、大雨等により汚水があふれる可能性が発生した場合や工事の段階に応じて、再度お願いする可能性があります。

3 現在の対応

- (1) 国土技術政策総合研究所、日本下水道事業団、日本建設業連合会、埼玉県建設業協会の協力をいただき、今後の復旧方針について検討中。がれきの撤去、スロープの復旧・強化、鋼矢板の設置等を実施中。地上から削孔し管渠内を常時監視できる体制を構築。
- (2) 日本下水道管路管理業協会の協力をいただき、事故現場の上流側のマンホール等から中川水循環センターへの汚水移送を実施中。
- (3) 関東地方整備局の協力をいただき、下水道の使用自粛と同程度の効果を得るチュウ4マンホールからチュウ3マンホールへの汚水移送を2月12日（水）から実施中。
- (4) 関東地方整備局の協力をいただき、春日部中継ポンプ場から近傍の水路・新方川を經由し中川への下水の放流を実施中であるが、早期に終了できるよう検討中。放流の影響を少しでも減らすため、企業局において希釈水を新方川上流水路に放流、また元荒川から河川水を取水し新方川上流水路に希釈水として放流を実施中。
- (5) 土木の措置によりキャビンへのアクセスを行うことを決定。工法については、一旦バイパスとなる下水道管の設置により下水を迂回させつつ、キャビンに向けて掘削を進める方針。
- (6) 2月5日（水）から相談窓口を開設し、事故に関連する電話による様々な問合せや相談などに応じています。なお、外国人住民の方には「外国人総合相談センター埼玉」を案内し、連携して対応しています。
- (7) 陥没箇所周囲の地盤改良等の対策工事が完了したため、避難区域を2月19日（水）9時から解除いたします。また、2月22日（土）に周辺住民の皆様を対象とした工事説明会を開催予定です。

4 今後の対応

- (1) 原因究明と応急復旧工事の検討・実施、抜本的対策の検討
- (2) 同様の下水道管の緊急点検

5 本対応における受援状況

- (1) 国土交通省本省
- (2) 国土交通省関東地方整備局
- (3) 国土交通省国土技術政策総合研究所
- (4) 国立研究開発法人 土木研究所
- (5) 地方共同法人 日本下水道事業団
- (6) 一般社団法人 日本建設業連合会
- (7) 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
- (8) 一般社団法人 埼玉県建設業協会
- (9) 一般社団法人 埼玉県測量設計業協会
- (10) 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
- (11) 埼玉県地質調査業協会

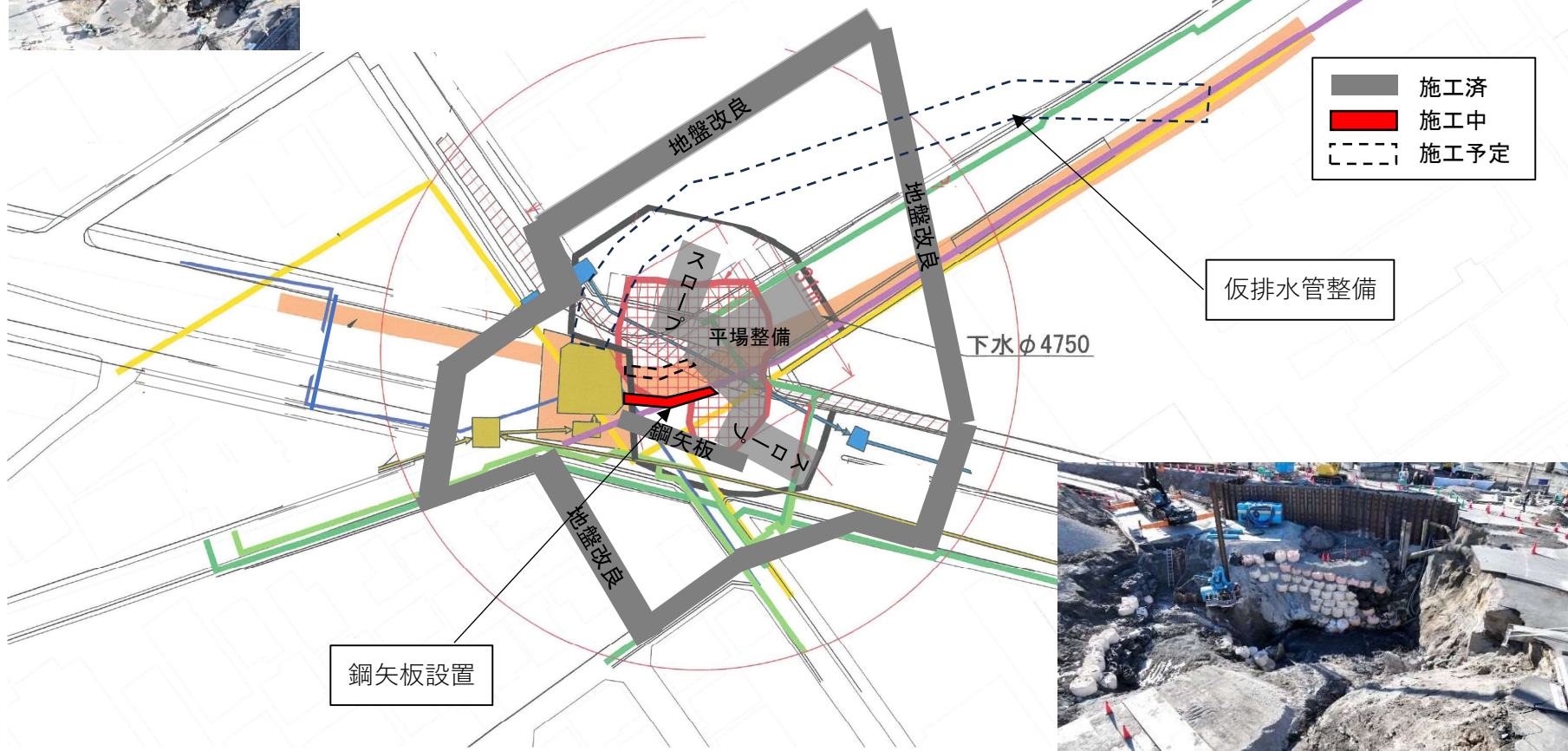
道路陥没平面図

上空写真(R7.2.17時点)



- | | | | |
|--|------|--|----------|
| | ガス管 | | 水路(暗渠) |
| | ガス管2 | | 工業用水 |
| | 雨水管 | | 下水 |
| | 下水管 | | 下水管 |
| | 通信管 | | カラーコーン位置 |

- | | |
|--|------|
| | 施工済 |
| | 施工中 |
| | 施工予定 |



中川流域下水道管内図 (取組状況)

影響範囲
(赤線内の薄い黄色の範囲)



中川水循環センター 60ha (令和3年10月撮影)



元荒川からの取水を新方川へ放流



企業局による希釈水の放流



春日部中継Pからの汚水の緊急放流



水質調査3点
1. F494橋
2. 昭和橋
3. 新中川水管橋

春日部中継Pからマンホール(ナカ16)へバキューム車で移送中

影響範囲外

複数のマンホール等からバキューム車で汲み上げた汚水を中川水循環センターへ移送中

凡例	
	流域関連市町境
	流域下水道計画処理区域
	流域下水道既設幹線
	流域下水道施工中幹線
	流域下水道計画幹線
	流域下水道終末処理場
	流域下水道中継ポンプ場

※処理場、ポンプ場はすべて供用済

全体計画	令和5年度末
処理面積	30,663ha / 16,618ha
処理人口	1,454,000人 / 1,434,035人
汚水量(日最大)	765,000m ³ /日 / 489,784m ³ /日
管渠施設延長	121km / 121km
中継ポンプ場	1カ所 / 1カ所
終末処理場(処理能力)	中川水循環センター 14系列 / 9系列 613,200m ³ /日

関係都市
さいたま市(一部) 川口市(一部) 春日部市
草加市 越谷市 八潮市 三郷市 蓮田市 幸手市
吉川市 白岡市 伊奈町 宮代町 杉戸町 松伏町
(11市4町)
※放流量は管渠延長に含まなし
※処理面積 処理人口には、単独公共分

マンホール(チュウ12)

マンホール(ウラ6)

草加市公共下水道マンホール

マンホール(チュウ11,チュウ5,加4)

西袋汚水中継ポンプ場

マンホール(チュウ3)

[陥没箇所] 県道松戸草加線(中央一丁目交差点内)マンホール(チュウ4)



チュウ4からチュウ3へポンプ車による汚水移送

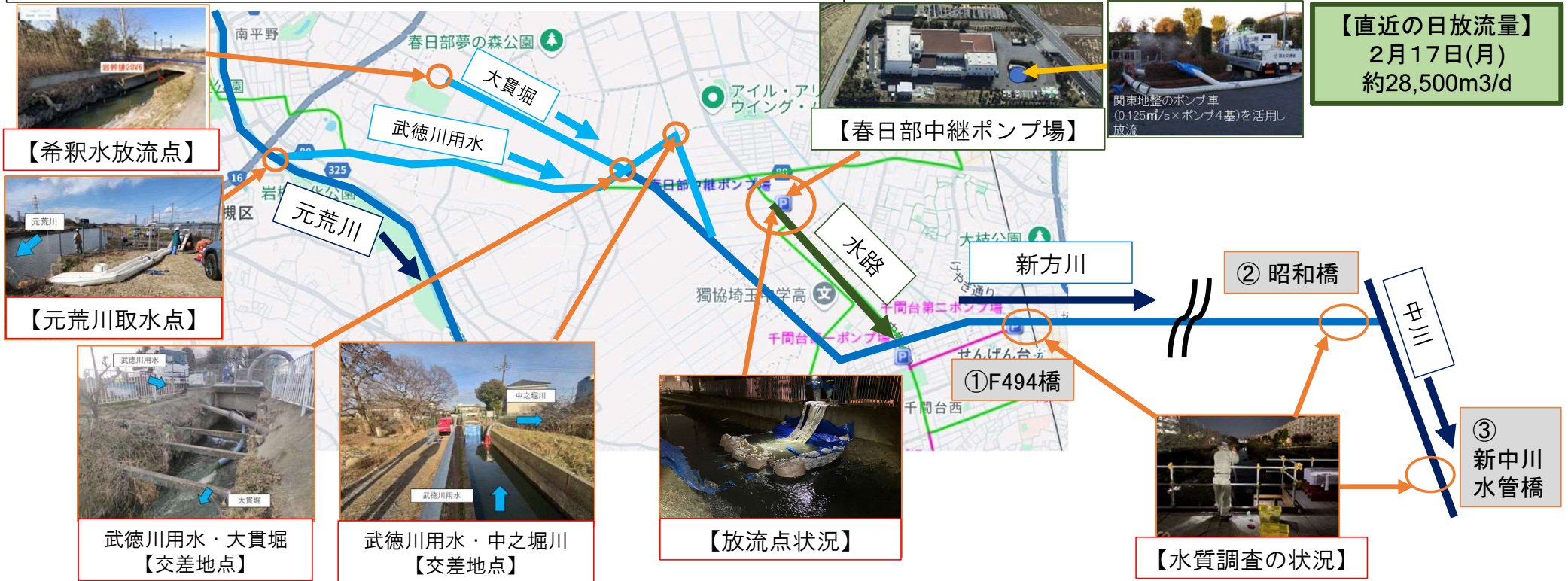
【 下水道の汚水の河川への緊急放流の状況について 】

- ・八潮市で発生した下水道管破損に関し、人命救助を優先して道路陥没現場への汚水の流量を極力減らすために、1月29日より下水道の汚水を春日部中継ポンプ場より近傍の水路、新方川を經由して中川に緊急的に放流を実施
- ・放流にあたっては、国土交通省より排水ポンプ車の派遣等、協力を得ている
- ・汚水の放流による影響を少しでも減らすべく、1月31日より新方川上流水路に希釈水の放流を行うとともに、2月9日より元荒川から河川水を取水し、新方川上流水路に希釈水として放流
- ・2月1日19時、放流点に塩素混和槽を設置し、効率的な塩素混合を実施

春日部中継ポンプ場汚水放流 水質測定結果

* 簡易水質検査キットの値(最大値 100mg/L)

採水地点	2025年2月17日採水分		2025年2月18日採水分	
	採水時刻	BOD *(mg/L)	採水時刻	BOD *(mg/L)
① F494橋(新方川)	8:50	15	8:50	10-15
② 昭和橋(新方川)	9:40	5-10	9:45	10
③ 新中川水管橋(中川)	10:20	10	10:30	10



【直近の日放流量】
2月17日(月)
約28,500m3/d

八潮市道路陥没事故 対応事業 ～第1ステップ（ポンプ迂回）～

第1ステップ：2月12日（水）～

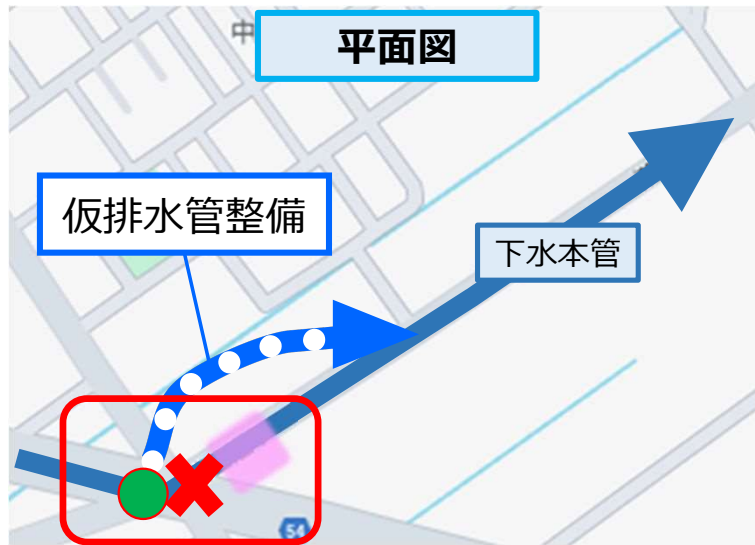
排水ポンプで陥没部を迂回

河川への放水と合わせて、事故発生前の
汚水処理量を維持する



八潮市道路陥没事故 対応事業 ～第2ステップ（仮排水管）～

第2ステップ：約3か月



マンホール
チュウ4

陥没箇所

